

ジメタメトリン・ピラゾレート・プレチラクロール粒剤 クサホープ D 粒剤	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： 日産、三井アグロ、シンジェンタ
成分： ジメタメトリン〔トリアジン系〕……………0.20% ピラゾレート〔ピラゾール系 PRTR・1種〕……………6.0% プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………1.5%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

●一年生雑草から、各種多年生雑草に優れた除草効果を示す。また、近年問題化してきた本田初期のアオミドロ及び表層はく離の発生を防止する効果も兼ね備えている。

●殺草力は雑草の発生前から発生始期の処理で高い効果を発揮する。

●通常の使用条件では水稻に対して安全である。

●スルホニルウレア抵抗性を獲得したホタルイ、アゼナ類、コナギ、アゼトウガラシ、キカシグサ、ミゾハコベ等にも効果を示す。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保つ。

●ノビエの2葉期（北海道は1.5葉期）までに時期を失しないよう散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ オモダカ	発生始期まで
ウリカワ ヘラオモダカ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離 ウキクサ	発生前

●北海道の泥炭質土壌の水田で使用する場合、ウリカワには効果が劣ることがあるので、多発田では使用しない。

●移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

●眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

●藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

●吸湿しやすいので開封後は強く口を閉じ、長期間の保管はさける。



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ヒルムシロ アオミドロ・藻類 による表層はく離 オモダカ (東北, 北陸, 九州) ウキクサ (近畿・中国・四国)	砂壤土～埴土	移植後 3 日～ ノビエ 2 葉期 但し, 移植後 30 日まで	3 kg	湛水 散布	全域の普通 期及び早期 栽培地帯	1 回 ※

※ジメタメトリンを含む農業の総使用回数 : 2 回以内

※ピラゾレートを含む農業の総使用回数 : 2 回以内

※プレチラクロールを含む農業の総使用回数 : 2 回以内